SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

複数の事前分布の獲得 II：タイミング行動における両手間の運動効果器特異性効果の検証 (研究の進捗発表)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松村, 圭貴, 佐藤, 良, 金長, 幸希, 吉岡, 大貴, 宮崎, 真 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027458

複数の事前分布の獲得 Ⅱ：タイミング行動における両手間の運動効果器特異性効果の検証

松村圭貴(情報科学科)，佐藤良（情報科学科），金長幸希（総合科学技術研究科），吉岡大貴（静岡大学創造科学技術大学院），宮崎真（学術院情報学領域）

私たちの内的・外的環境は変動（ノイズ）に満ちている．ベイズ則に従い，課題標的の事前分布を獲得し，感覚情報と統合することにより，その変動の影響を最小化できる(ベイズ推定)．これまでに到達運動（Koerding & Wolpert. 2004）やタイミング課題（Miyazaki et al. 2005, Jazayeri & Shadlen. 2010）を用いた心理物理学的実験により人間の中枢神経系がベイズ推定を行っていることが示されてきた。日常環境は多様な事物に満ちている．すなわち，ベイズ推定が日常環境で機能するためには、複数の事前分布を同時に利用することが必要となる．本研究は，事前分布に応じて異なる身体部位（右手人差し指 vs. 左手人差し指）を割り当てて課題を行うことにより，複数の事前分布の獲得が速やかにできるとする仮説を立て，タイミング課題を用いた心理物理学的実験を行っている．本発表ではその進捗を報告する。